

オーディオ実験室収載

デジタルサントリーホールを楽しむ(10)

—ライブ配信(10)—

1. 始めに

サントリーホールが、日本フィル&サントリーホール にとっておき アフタヌーン Vol. 18 の配信を行うとのアナウンスがありましたので視聴しました。

2. デジタルサントリーホール配信プログラム

今回は、サントリーホールの日本フィル&サントリーホール にとっておき アフタヌーン Vol. 18 の配信を視聴しました。

日本フィル&サントリーホール にとっておき アフタヌーン Vol. 18

【有料オンライン（ライブ&リピート）配信あり】

【指揮者・曲目（一部）変更のお知らせ】

出演を予定しておりました沖澤のどか（指揮）は、2022年1月に出産予定となりましたため、本公演への出演を辞退されました。代わりに坂入健司郎（指揮）が出演し、曲目の一部を変更いたします。主催者一同、沖澤氏のご健康をお祈り申し上げます。またサントリーホールデビューとなる注目の坂入氏にご期待ください。

日時 2022年2月2日(水) 14:00 開演（13:20 開場）

会場 大ホール

出演

指揮：坂入健司郎

チェロ：佐藤晴真

ナビゲーター：高橋克典

管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団

曲目

グリンカ：オペラ『ルスランとリュドミラ』序曲

チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品 33（オリジナル版）

サン＝サーンス：『動物の謝肉祭』より「白鳥」（チェロとハープによる）

レスピーギ：組曲『リュートのための古いアリアと舞曲』第3集

レスピーギ：交響詩『ローマの松』



3. デジタルサントリーホール配信の経過

いずれの曲目もお馴染みのものですが、指揮の坂入健司郎も、チェロ奏者の佐藤晴真も初めて聴きます。

『ルスランとリュドミラ』序曲は、オーディオの試聴会などでよく聴くもので勢いの良さがデモ向きの曲です。

ロココ風の主題による変奏曲 イ長調は、佐藤晴真の演奏は、若い奏者ながらもなかなかの演奏巧者でした。

「白鳥」は、チェロとハープのデュオで爽やかな演奏です。

『リュートのための古いアリアと舞曲』第3集と交響詩『ローマの松』は、指揮者の変更で抜擢された異色の経歴の若手指揮者の坂入健司郎の思い入れのある選曲だそうで、動と静が繰り返し、終章の爆発まで印象派の絵をみるような色彩感のある描写的な演奏でした。

4. まとめ

デジタルサントリーホールのアーカイブ配信が視聴可能でした。

以上